

2017年度 第2回

中京大学所蔵国書善本展示会

中京大学名古屋図書館は、2017年度の第2回国書善本展示会を下記の日程で開催します。

普段は貴重書庫に置かれて一般には公開されていない貴重な国書です。ぜひご高覧ください。

展示場所： 中京大学名古屋図書館1階

展示期間： 6月2日(金)～7月31日(月)

展示作品

めいふぼんてん ず え

1. 名府梵天図絵……………江戸中期

4巻4冊

えんこうあん

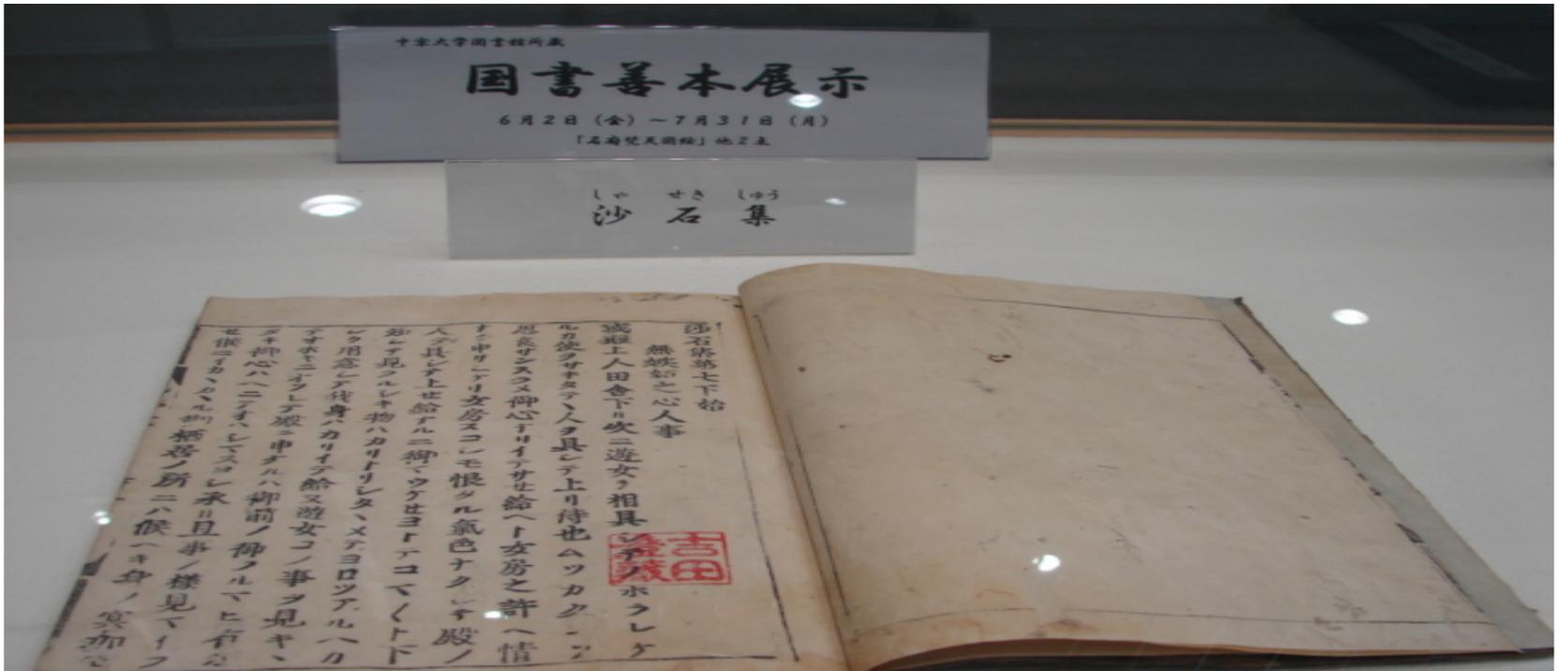
こうりきたねのぶ

猿猴庵こと尾張藩士高力種信が著した、名古屋の梵天祭における山車行列の絵図集。この祭りは、町々が造形物(梵天)を作って練り歩いた祭礼。中京大本は天明5年(1785)の梵天祭を描いたもので、貴重な資料である。



しやせきしゆう
2. 沙石集……………江戸初期 1冊

『沙石集』は、尾張国木賀崎(現・名古屋市東区)の長母寺住持の無住むじゆうによって、鎌倉時代後期に現された。卑俗の説話を例として、仏教の教えを説く啓蒙的な仏教説話集。中京大本は元和4年(1618)刊の古活字版で、刊七下1冊のみの端本はほん。



ゆぎようやなぎ
3. 遊行柳……………江戸初期 1冊

観世信光かんのぶみつ作の謡曲ようきょく。活字で刷られた美しい能の楽譜。遊行の僧が白河関の辺りで老人に出会い、朽木の柳に案内される。僧の念仏によって柳の精が現れ、謡い舞い、夜明けに消えるという内容。表紙にも本文の紙にも雲母摺りの模様がある。

